



学校だより No.5

—夏休み前特別号— 2018（平成30）年7月20日
聖ウルスラ学院英智小・中学校

今年は、冬季オリンピック・パラリンピックに引き続き、サッカーワールドカップやウィンブルドン選手権、メジャーリーグなど、日本人選手の世界的な活躍で盛り上がっています。何かに打ち込み、ひたむきに努力する姿は本当に美しく、感動しますが、これら日本人の活躍の中に、やはり昔とはちょっと違った「思考力」のようなものの重要性を感じ取ることができるような気がします。

さて、いよいよ夏休みです。何より「安全に」です。楽しいことも様々あるかと思いますが、最優先は「安全」であることを忘れないようにお過ごし下さい。

しっかり計画を立て、有意義な夏休みになるようお祈りしています。

《行事予定》

【夏季休業 7月21日(土)～8月22日(水)】

7月28日(土)PTA親子ふれあい ※各学年課外は学年のお知らせで確認して下さい。

8・9月の主な予定

(8月)11日(土・祝)～16日(木) 学校閉鎖

19・20日(日・月) T1 野外活動(21日(火)T1 代休)

21日(火) 漢検(午前)自力登下校

23日(木) 始業集会・午前授業(S7,T2 私学テスト) 給食弁当なし・SB12:15

(T1は中学総合学力調査。午後まで。要弁当)

24日(金) 通常(S5・7年,T2 育伸社私学テスト(全学年2教科の後、通常授業)

※6年生は活用力養成問題(総合問題Ⅰ・Ⅱ(45分×2)のテスト)

25日(土) T1(+高校)英智祭準備日 26日(日)英智祭 27日(月)T1 振替休業日

30日(木) うるすら☆ふえすた(5・6年午後、7年・T④～)

(9月)1日(土) 7年中学総合学力調査(7C全員・AB希望者、午後)

4日(金) 1st縦割りの日(1stお弁当)

5・6日(水・木) 5・6年前期末考査(給食弁当なし・自力下校) 4年学力テスト(5日のみ)

5日(水)～7日(金) 3年宿泊学習

8日(土) 臨時休業日(英智イングリッシュコンテスト)

12～14日(水～金) 7・8・9年前期末考査(給食弁当なし・最終日はT1のみ給食あり)

15日(土) PTAバザー

18日(火)～20日(木)5・6年宿泊学習(21日(金)5・6年休業)

22日(土) 9年ケアンズ説明会(最終)

26日(水) 生徒会選挙・立会演説会

27日(木) T1 課題発見解決能力テスト

28日(金) T2 体育祭(T2お弁当)

<10月4日(木)前期終業式>

【学校評価アンケートのご協力 ありがとうございました】

保護者の皆様方から、多数の励ましやご意見、ご質問をいただきました。本当にありがとうございました。ひとつひとつ検討し、学校だよりや学年だよりなど、様々な形でフィードバックして参りたいと思います。

お願い:保護者の皆様へ

自家用車でお子様を迎えにいらっしゃった時など、できるだけ速やかに車をご移動下さい。

現状:ピロティなどで保護者様同士がお話している間、他の車が入れないことがあり、また、その間児童が玄関前付近で遊んでおり、大変危険であるのご指摘がありました。

第一に危険回避、安全確保の点から、第二にスムーズな駐車場管理の点から、なにとぞご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<お知らせ>

・一番町で4年生の「すずめ踊り」演舞が行われます。

7月21日(土)15:30ごろ 於:一番町商店街

毎年行われている一番町三社まつり前日の「宵祭り」に今年も招待していただきました。4年生は60人近く在籍しているので、とてもダイナミックな演舞になることでしょう。

ちなみに、本祭り「神輿渡御」は7月22日(日)13:00~17:00 おおまち商店街「えびす神社」、一番街商店街「和霊神社」、サンモール商店街「野中神社」3基の神輿が、一番町通り~中央通りを渡御するということです。



昨年の三社祭の「すずめ踊り」

・中総体 今年の東北大会は宮城県開催です。

バドミントン競技は8月8~10日の日程で、仙台の宮城野体育館に於いて開催されます。本校のバドミントン部も男女とも(県大会で順当に勝ち進めば)地元での大会となります。優勝目指して頑張りたいと願っています。

<御礼>

・一斉メールでお願い致しました、「面談で来校される場合は公共交通機関でお願いします」にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。おかげさまで、水曜日以降は面談もスムーズに行われ、駐車関係のトラブルもなく管理することができております。

突然のメールでのお願いだったにもかかわらず、こころよくご協力をいただきましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

7月《聖書のことば》

「明日のことまで思い悩んではいけない。」(マタイによる福音書 6章 34節)

私たちがよく歌う聖歌に「ごらんよ空の鳥」という曲がある。作詞作曲は校歌と同じ新垣壬敏(あらがきつぐとし)先生(中学生以上にとっては定期試験に毎回出題される校歌の歌詞と共に確実に書いて覚えなければならない名前である)。新垣先生は『典礼聖歌集』や『カトリック典礼聖歌集』の中の数々の聖歌の作曲をされているが、その曲調はとても優しく、癒やされるものが多い。それはさておき、この「ごらんよ空の鳥」、私は大好きである。理由は、優しい曲調というのもあるが、やはりその内容である。

ごらんよ 空の鳥 野の白百合を
蒔きもせず紡ぎのもせずに安らかに生きる
こんなに小さいのちにでさえ心をかける父がいる

※折り返し
友よ 友よ今日もたたえて歌おう
すべての物に染み通る
天の父のいつくしみを

おわかりであろうか、歌詞のモチーフは今月の聖句である。

一空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。～中略～ だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である—

数年前まで高校の卒業式の歌唱指導をしていたが、この曲の指導は特に楽しかった。やりがいを感じていた。高校生活最後に触れる神様からのことばが「私がいつも見ているから、安心していなさい」なのである。本校を3年なり6年なり12年なり過ごした卒業生たちへの「はなむけ」にふさわしく、それを歌として歌う喜びを共に味わえるひとときであったからであろう、卒業式の本番ではよく涙をこらえながらピアノ伴奏を弾いていたものである。

とは言えこのご時世、学校は、いや、企業であっても、明日のことはおろか5年後、10年後の世の中がどのようなになっているかを考えずにはやっていると「10年後には今の仕事の半分はなくなっている」や「人間がAIに操られる時代が来る」などの情報が、おそらく誤ったものではないから更に深刻である。本校でも、「21世紀に必要な資質、能力の育成を目指して」という今年の教育キーワードの通り、かなり先を見据えた教育を考えているわけであるが、逆に今やっていることの答えをすぐに求められる場面も少なくない。教育現場では、これも当然である。



「教育は忍耐と信頼である」という言葉の通り、我々教員は、子どもの成長とそれを見守り導く神様を信頼しながら、忍耐を以てその日の教育を精一杯行うことでのみ、この相反して見える「明日のことまで思い悩むな」と「将来を見据えた教育」を両立しうるのだろう。このことを心に留め、これからも心を込めて「ごらんよ空の鳥」を歌い、卒業生たちを送り出したい。

教頭 鹿野紀幸

【1・2年合同泉岳宿泊学習】 7月6・7日(金・土) 泉ヶ岳ふれあいホール

今年の泉岳宿泊学習は、両日とも天候不良のため屋内プログラムでの実施となりました。

今思えば、この雨のとき、西日本では未曾有の豪雨災害が発生しているまさにその時で、1・2年生が無事この行事を終えて帰ってこられたことに感謝するとともに、災害により被害を受けた方々へ、復興に向けて心よりお祈り申し上げる次第です。さて、屋内プログラムのはじめは、体育館でのドッチビーです。ここでは1・2年生とは思えない「スローイング&キャッチング」をご紹介します。



いかがでしょうか。なんとも逞しい姿です。次は食事の準備の様子。協力し合って準備しています。



各部屋ごとに協力し合ってベッドメイキング。体よりはるかに大きな布団を2人で綺麗に整えます。



2日目の屋内プログラムは「木工クラフト制作」です。すてきな作品ができました!!



とても楽しく充実した2日間でした。